

2023.12.20時点の農業登録情報により作成

防除時期	対象病害虫	登録農薬名	希釈倍数	水100%当り 薬剤量	使用時期	使用回数	備 考
育苗期	灰色かび病・黒枯病・菌核病	トップジンM水和剤※	1500倍	66g	収穫前日まで	5回以内	ゲッターと合わせて5回以内
定植時	アブラムシ類・ミナミキイロアザミウマ・コナジラミ類	ベストガード粒剤	1〜2g/株	-	定植時	1回	植穴処理 土壌混和
定植後	半身萎凋病	ベンレート水和剤※	500倍	200g	定植後〜収穫14日前まで	3回以内	土壌灌注200〜300ml/株
5月上旬 〜6月下旬	灰色かび病・黒枯病・菌核病・褐紋病		2000倍	50g	収穫前日まで		
	灰色かび病・黒枯病・菌核病	ゲッター水和剤	1500倍	66g	収穫前日まで	5回以内	トップジンMと合わせて5回以内
	(褐斑細菌病・軟腐病・べと病・黒斑細菌病・斑点細菌病・黒腐病)すずかび病	Zボルドー	500倍	200g	-	-	(野菜類登録)なす登録:すずかび病
	アブラムシ類・テントウムシダマシ類		4000倍	25g	収穫前日まで	3回以内	
	アザミウマ類・コナジラミ類	モスピラン顆粒水溶剤(劇)	2000倍	50g			
	ミナミキイロアザミウマ・コナジラミ類・アブラムシ類・ハモグリバエ類・カメムシ類・テントウムシダマシ類	ダントツ水溶剤	2000倍	50g	収穫前日まで	3回以内	
	ハスモンヨトウ・コナジラミ類	ノーモルト乳剤	2000倍	50cc	収穫前日まで	2回以内	
灰色かび病・菌核病・黒枯病・すずかび病・褐色斑点病	ロプラール水和剤	1000倍	100g	収穫前日まで	4回以内		
7月〜9月 発生期	灰色かび病・黒枯病・すずかび病・うどんこ病	ダコニール1000	1000倍	100cc	収穫前日まで	4回以内	
	褐色腐敗病	ランマンフロアブル	2000倍	50cc	収穫前日まで	4回以内	
	灰色かび病・うどんこ病・すずかび病	ベルコート水和剤	3000倍	33g	収穫前日まで	3回以内	
	ハスモンヨトウ・コナジラミ類		1000倍	100cc	収穫前日まで	3回以内	
	オオタバコガ・ハモグリバエ類・チャノホコリダニ	アニキ乳剤	2000倍	50cc			
	テントウムシダマシ	サイアノックス乳剤	1000倍	100cc	収穫前日まで	2回以内	
	ハスモンヨトウ・ハモグリバエ類・アザミウマ類・オオタバコガ	プレオフロアブル	1000倍	100cc	収穫前日まで	4回以内	
	コナジラミ類・ハスモンヨトウ・ハダニ類・チャノホコリダニ・アザミウマ類・ハモグリバエ類・オオタバコガ	アフーム乳剤	2000倍	50cc	収穫前日まで	2回以内	
	ハモグリバエ類・オオタバコガ・ハスモンヨトウ	プレバソフロアブル5	2000倍	50cc	収穫前日まで	2回以内	
	コナジラミ類・アザミウマ類・ハモグリバエ類・オオタバコガ・ハスモンヨトウ	ディアナSC	2500倍	40cc	収穫前日まで	2回以内	
	ハダニ類・オオタバコガ・ヨトウムシ・ミカンキイロアザミウマ・ミナミキイロアザミウマ・チャノホコリダニ・テントウムシダマシ類・ハスモンヨトウ	コテツフロアブル(劇)	2000倍	50cc	収穫前日まで	4回以内	
ハダニ発生期	ハダニ類・チャノホコリダニ	ピラニカEW(劇)	2000倍	50cc	収穫前日まで	1回	
	ハダニ類	ダニロンフロアブル	2000倍	50cc	収穫前日まで	1回	
うどんこ病発生期	うどんこ病・チャノホコリダニ	モレスタン水和剤	2000倍	50g	収穫前日まで	3回以内	
	うどんこ病・すずかび病	トリフミン水和剤	3000倍	33g	収穫前日まで	5回以内	

他 登録薬剤	対象病害虫	登録農薬名	希釈倍数	水100%当り 薬剤量	使用時期	使用回数	備 考
ハダニ発生期	ハダニ類・チャノホコリダニ	スターマイトフロアブル	2000倍	50cc	収穫前日まで	1回	
	ハダニ類・チャノホコリダニ・コナジラミ類・ハモグリバエ類	コロマイト乳剤	1500倍	66cc	収穫前日まで	2回以内	
	ハダニ類	ダニサラバフロアブル	1000倍	100cc	収穫前日まで	2回以内	
合成ピレスロイド剤等「蚕」に留意	アブラムシ類・ハダニ類・ミカンキイロアザミウマ・ハスモンヨトウ	アーデント水和剤	1000倍	100g	収穫前日まで	4回以内	
	アブラムシ類・オンシツコナジラミ・テントウムシダマシ類・カメムシ類	アデオン乳剤	2000倍	50cc	収穫前日まで	3回以内	
	コナジラミ類・アブラムシ類	トレボン乳剤	1000倍	100cc	収穫前日まで	3回以内	
	オンシツコナジラミ・アブラムシ類・ミナミキイロアザミウマ	アグロスリン水和剤(劇)	1000倍	100g	収穫前日まで	5回以内	

除草剤	対象雑草	登録農薬名	散布液量	使用量	使用時期	使用回数	備 考
	1年生雑草(ツクサ科・カヤツリガサ科・キク科・アブラナ科を除く)	トレファノサイド粒剤2.5	-	4〜5kg/10a	定植前(植穴掘前)全面土壌散布	1回	露地栽培のみ
					定植直後うね間土壌散布		
1年生雑草	バスタ液剤	100〜150g/10a	300〜500ml/10a	収穫前日まで(雑草生育期定植前、又は畦間処理)	3回以内	雑草茎葉散布	

植物成長調整剤	目 的	登録農薬名	希釈倍数	処理時期	使用回数	備 考
	着果促進・果実肥大促進・熟期の促進	トマトーン※	50倍		開花当日	1花房当たり1回

土壌消毒剤	対象病害虫	登録農薬名	散布液量	使用量	使用時期	使用回数	備 考
	半身萎凋病・ネコブセンチュウ・苗立枯病(リゾクトニア菌)・1年生雑草・青枯病・白絹病	ガスタード微粒剤(劇)	30kg/10a			播種または定植21日前まで	1回

○10a当りの散布量 5月期=150% 6月期=200% 7月以降=250% を散布目安とする。
○使用時期の「収穫前日まで」とは、薬剤散布を終了した時刻より「24時間」を経過するまで収穫できないことを示します。

○ジェイエース、オルトラン、オンコルは、なすに使用できなくなりました。絶対に使用しないこと！

※トマトーン1本20mlを水量1ℓで希釈する

※※トップジンM水和剤、ベンレート水和剤は収穫間隙での使用を避けること。

留意事項 *育苗期に直径の小さいポットに薬剤散布を行うと葉害を生じる場合があるので、9cm以上のポットを用い散布液量に注意する。

*ハダニ類は、高温乾燥の時期に発生が多くなるので注意する。又、薬剤抵抗性が発現しやすいので同一薬剤の連用を避ける。

適正管理について！

1. 病害虫の発生状況・予察に留意しながら予防・発生初期防除を心がける。
2. 圃地の適正な排水管理を行う。
3. ドリフト軽減ノズルや防葉ネット等を出来る限り使用する。

防除器具の農薬残留に留意！！

- ・防除器具は、前回散布後に充分洗浄したか確認し、散布当日も薬剤調整前にもう一度通水し洗浄しましょう。
- ・防除器具は使用后、通水で3回以上洗浄しましょう。